



1月17日 と言えば…？

1月17日は、阪神・淡路大震災が発生した日(1995年)です。
大きな被害があり、寒さ厳しい時期に、多くの方たちが避難生活をする
ことになりました。

そのとき、多くのボランティアの方たちによって届けられたのが「おむ
すび」です。

すぐに食べることができる「おむすび」に、「気持ちをつなぐ、気持ちを結
ぶ」ということを込めて、この日を『おむすびの日』とするようになったよう
です。

【一考】「おむすび」と「おにぎり」に違いはあるのでしょうか？

おにぎりは「握る」、おむすびは「結ぶ」という漢字が当てられそうです。
すしも「握り」と言いますから、おにぎりは、かたち作って食べるものの総称のよう
な気がします。

形状も、丸や俵のかたちをイメージします。

握らず整える(かたちづくる)ことで、「にぎらず」というものも出てきました。

一方、おむすびは、三角のかたちをイメージします。

わたしは、おむすびという言い方に慣れていて、ひょっとして「関ヶ原」辺りで分か
れ…、西日本では「おむすび」なのかなあと考えてしまいます。

大震災の時に届けられたおむすび…、確かに、阪神・淡路は西日本です。

わたしは、形も、こどものころから三角に親しみがありません。

※コンビニエンスストアに行って確かめてみると、「塩にぎり」「塩むすび」とあり、
にぎりは丸、むすびは三角になっていました。

「結ぶ」とは何を示すのか、気になりますが…。

この違いには、きっと文化的な背景があるのだらうと思います。